

## 学校教育自己診断（生徒）：令和7年度分析（昨年度との比較を基に）

校長より

令和7年度の学校教育自己診断（生徒対象）は、全28項目中25項目で前年度（令和6年度）を上回る肯定的評価を得ており、学校教育活動の多くの側面で生徒の満足度が向上していることを示唆している。特に、「学校行事の工夫」(+4.9ポイント)、「教え方の工夫」(+4.9ポイント)、「国際理解の機会」(+4.7ポイント)の項目で顕著な改善が見られた。

学校生活の根幹に関わる項目においては「学校が楽しい」という項目が引き続き85%以上をキープするとともに、部活動や校内での挨拶習慣など仲間との繋がり感を表す項目について向上が見られた。社会が多様化する中、生徒が自分らしく安心して高校生活を送ることのできる学校創りは大きな課題である。引き続き組織的に取り組んでいきたい。

肯定的評価が最も高かったのは「クロームブックの活用機会」(97.7%)であり、ICT活用が定着している様子がうかがえる。対照的に、評価が物足りなかったのは「地域の方々との交流機会」(68.6%)であり、向上を示しているものの依然として本校の課題である。

授業内容、進路指導、生徒サポート体制の充実が生徒に肯定的に受け止められている中、さらなる学校力の向上に向けては「地域連携の深化」が鍵になると言える。

### <詳細分析>

#### 1. 授業と学習環境

授業関連の項目では、総じて生徒からの評価が向上している。特に、授業の分かりやすさ、学力向上への貢献、教師の創意工夫といった点で顕著な改善が見られた。評価基準の事前提示や評価内容への納得度は引き続き高い水準を維持している。

- ・「授業はわかりやすい。」84.2% (R6 80.4%) <+3.8> 授業の明瞭性が大幅に向上。
- ・「授業は学力向上に役立っている。」86.0% (R6 83.4%) <+2.6> 学習効果に対する生徒の実感がさらに高まっている。
- ・「授業では自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。」91.8% (R6 88.1%) <+3.7> 本校教育のポリシーである「生徒の主体的な学習活動」が促進されている。
- ・「教え方に工夫している先生が多い。」90.0% (R6 85.1%) <+4.9> 教員の授業改善に対する努力、前向きな意識が生徒に高く評価されている。
- ・「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。」79.1% (R6 75.4%) <+3.7> 質問しやすい環境づくりが進んでいる。
- ・「評価の仕方や基準について、事前に示されている。」94.5% (R6 93.3%) <+1.2> 評価の透明性は非常に高いレベルで維持されている。
- ・「学習の評価については、納得できる。」92.4% (R6 91.0%) <+1.4> 評価への納得度も極めて高い。

## 2. ICT の活用

ICT 活用は極めて高い評価を得ており、教育環境に深く浸透していることがわかる。

「クロームブックの活用」は全項目中トップの評価となった。一方で、「コンピュータやプロジェクターの活用」はわずかに減少したが、依然として 95%を超える高い水準にある。

「授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している。」 96.9% (R6 97.4%) <-0.5> ほぼ全ての授業において活用が進んでいる。

・「クロームブックを授業・ホームルームで活用する機会がある。」 97.7% (R6 97.6%) <+0.1> 様々な場面で活用が進んでいる。

## 3. 生徒指導とサポート体制

生徒指導や相談体制に関する項目も全体的に評価が向上した。特に、いじめや相談事への真摯な対応、プライバシー保護に対する評価が高まった。生徒の悩みが多様化する中「担任以外の相談できる先生」の項目は、ここ数年順調に肯定率が向上しているものの引き続き重点課題であり、今後もさらに組織的に取り組んでいきたい。

・「先生は協力して生徒指導に当たっている。」 91.8% (R6 90.0%) <+1.8>

教員間の連携が評価されている。

・「担任の先生以外に相談することができる先生がいる。」 74.3% (R6 71.7%) <+2.6>  
相談体制は改善傾向にあるが、さらなる向上が望まれる。

・「生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。」 86.0% (R6 84.5%) <+1.5> 規律指導への取り組みが評価されている。

・「全ての教育活動において生徒のプライバシーが守られている。」 94.3% (R6 91.1%) <+3.2>  
プライバシー保護への意識と取り組みが大幅に向上した。

・「先生は、いじめや相談事について私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」 92.4% (R6 89.8%) <+2.6>

生徒の困り感に対する教員の対応への信頼が高まっている。

## 4. 進路指導

進路に関する 3 項目はすべて前年度を上回る評価を得た。将来について考える機会の提供や、進路・奨学金に関する情報提供が充実していると生徒は感じている。キャリア教育も含め、生徒の自己実現に向けたサポートは学校教育の要である。引き続き充実させたい。

・「将来の進路や生き方について考える機会がある。」 93.7% (R6 92.9%) <+0.8>

・「進路についての情報を知らせてくれる。」 92.0% (R6 89.9%) <+2.1>

・「奨学金制度についての情報を知らせてくれる。」 87.1% (R6 84.9%) <+2.2>

## 5. 学校生活全般と特別活動

学校生活においては、「学校行事」の楽しさや工夫が大幅に向上した。「学校へ行くのが楽しい」という項目が微減したことは残念だが、85.6%の肯定率は本校が生徒にとってポジティブな空間であることが伺える。部活動や挨拶といった人間関係創りに関する項目の肯定率が向上していることも嬉しい結果である。

- ・「学校へ行くのが楽しい。」 85.6% (R6 87.2%) <-1.6> 高校生活の根幹の部分である。
- ・「自分は部活動に積極的に取り組んでいる。」 76.9% (R6 74.8%) <+2.1> 生徒の部活動への主体的な参加意識が向上している。
- ・「学校では挨拶が自然に交わされている。」 89.9% (R6 86.7%) <+3.2> 校内のコミュニケーションが活発化している様子がうかがえる。
- ・「学校行事（体育祭・文化祭・修学旅行等）は楽しく行えるよう工夫されている。」 93.4% (R6 88.5%) <+4.9> 学校行事の企画・運営が生徒から非常に高く評価されており大変嬉しい結果である。

## 6. 地域連携・国際理解

国際理解に関する設問は評価が大きく向上した。一方で、地域住民との交流機会はまだまだ評価が十分とは言えず、前年度から向上したもののが継続的な課題といえる。

- ・「留学生や国際交流・海外研修等を通じ、国際理解について学ぶ機会がある。」 84.1% (R6 79.4%) <+4.7>
- ・「授業や部活動等で地域の方々と交流する機会がある。」 68.6% (R6 68.0%) <+0.6>

---

### 自己診断結果 昨年度比較

No.項目	R7	R6	比
1 学校へ行くのが楽しい。	85.6%	87.2% (-1.6)	
2 授業はわかりやすい。	84.2%	80.4% (+3.8)	
3 教育課程（カリキュラム）は、自分の進路希望に適している。	82.5%	81.1% (+1.4)	
4 授業は学力向上に役立っている。	86.0%	83.4% (+2.6)	
5 授業では自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。	91.8%	88.1% (+3.7)	
6 教え方に工夫している先生が多い。	90.0%	85.1% (+4.9)	
7 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	79.1%	75.4% (+3.7)	
8 評価の仕方や基準について、事前に示されている。	94.5%	93.3% (+1.2)	
9 学習の評価については、納得できる。	92.4%	91.0% (+1.4)	
10 先生は協力して生徒指導に当たっている。	91.8%	90.0% (+1.8)	

11	担任の先生以外に相談することができる先生がいる。	74.3%	71.7%	(+2.6)
12	生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。	86.0%	84.5%	(+1.5)
13	将来の進路や生き方について考える機会がある。	93.7%	92.9%	(+0.8)
14	進路についての情報を知らせてくれる。	92.0%	89.9%	(+2.1)
15	奨学金制度についての情報を知らせてくれる。	87.1%	84.9%	(+2.2)
16	自分は部活動に積極的に取り組んでいる。	76.9%	74.8%	(+2.1)
17	人権について学ぶ機会がある。	92.1%	92.2%	(-0.1)
18	学校で、地震や火災などがおこった場合、どう行動したらよいか、知らされている。	87.8%	84.0%	(+3.8)
19	校舎や体育施設は、授業や活動がしやすいように整備されている。	87.7%	85.2%	(+2.5)
20	授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している。	96.9%	97.4%	(-0.5)
21	他の先生が授業を見学に来ることがある。	87.2%	86.5%	(+0.7)
22	全ての教育活動において生徒のプライバシーが守られている。	94.3%	91.1%	(+3.2)
23	学校では挨拶が自然に交わされている。	89.9%	86.7%	(+3.2)
24	先生は、いじめや相談事について私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	92.4%	89.8%	(+2.6)
25	クロームブックを授業・ホームルームで活用する機会がある。	97.7%	97.6%	(+0.1)
26	学校行事（体育祭・文化祭・修学旅行等）は楽しく行えるよう工夫されている。	93.4%	88.5%	(+4.9)
27	留学生や国際交流・海外研修等を通じ、国際理解について学ぶ機会がある。	84.1%	79.4%	(+4.7)
28	授業や部活動等で地域の方々と交流する機会がある。	68.6%	68.0%	(+0.6)